

令和6年 後期昇段級試験応募規定

令和6年「後期昇段級試験」を下記の要領で実施いたしますので、奮って応募し自己の実力を
お試し下さい。

※ 現段級に関係なく、現段級より上位のどの部（S～B）にも応募できます。

実用書		仮名			詩文書		漢字					課題	作品形式
⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①		
漢字細字・兵頭白慧先生書 。十一月号手本課題（No.464）	手紙文・大坪桂子先生書 。十月号手本課題（No.463）	伝紀貫之筆「高野切三種」のうち 任意の箇所を臨書	条幅随意（仮名）・舟尾圭碩先生書 。十月号手本課題（No.463）	半紙随意（仮名）・舟尾圭碩先生書 。十月号手本課題（No.463）	あかい靴の 閻魔が雪を 施して （横須賀 詢の句）	あかい靴の 閻魔が雪を 施して （横須賀 詢の句）	『書譜』十月号から十一月号の米芾 「茗溪詩卷」のうち任意の箇所を臨書 （但、四字以上とする）	起 鳳（才華の優れているたとえ）	『書譜』十月号から十一月号の米芾 「茗溪詩卷」のうち任意の箇所を臨書 （但、十字以上とする）	条幅規定（漢字） 。十一月号手本課題（No.464）	半紙規定（漢字） 。十一月号手本課題（No.464）		
タ半 テ書紙	タ半 テ書紙	タ半半 テ書懐紙	タ半 テ書折	タ半半 テ書紙紙	自半 タテ・ヨコ 由紙	タ半 マ折 タテ・ヨコ 自由	タ半 テ書紙	自半 タテ・ヨコ 由紙	タ半 テ書紙	画半 仙折 紙	画半 仙折 紙	タ半 テ書紙	作品形式

□ 一般部（毛筆）
一、課題

<p>▽ 受験資格 現在毛筆師範正の人にかぎりません。 令和六年後期昇段級試験の課題に同じ。</p> <p>▽ 課題 現在毛筆師範正の人にかぎりません。 令和六年後期昇段級試験の課題に同じ。</p> <p>▽ 出品作品</p> <p>(イ) 漢字半折②を二体。 臨書半折③を一枚。 漢字半折④を一枚。</p> <p>(ロ) 漢字半折④を一枚。</p> <p>(ハ) 漢字半折④を一枚。</p> <p>(ニ) 詩文書半折または半折⑥を一枚。</p> <p>(ホ) 仮名半紙⑧を一枚。</p> <p>(ヘ) 実用書半紙⑩・⑫のいずれかを一枚。</p> <p>※ 出品作品の落款は雅号で記入し、雅号印を押して昇試清書 作品として出品して下さい。</p> <p>※ 「七、出品要領」ア～カに準じて出品して下さい。</p> <p>▽ 出品締切日 十一月三十日（土） 必着厳守</p> <p>▽ 一次受験料 三〇、〇〇〇円（二次受験料は作品と共に前納のこと。）</p> <p>▽ 発表 表</p> <p>。試験の結果については、合格、または不合格の通知を本人あてに します。ので、作品送付の際、住所、氏名を記入のうえ百十円切手 をはった返信用封筒を同封して下さい。</p> <p>。なお、一次合格者については、二次試験（実技と筆記試験）を実 施（予定）いたします。詳細については本人あてに通知いたします。</p> <p>※ 二次試験合格者のみ「成家」として認定致します。</p>	<p>「成家」受験規定について</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------

⑤	④	③	②	①	課題	用紙
暮らしに役立つ書十一月号の課題△硬筆課題A▽（No.464） を右サイズの便箋用紙に書きなさい。	漢字細字⑫の課題を右サイズの硬筆用紙に体裁 よく書きなさい。	草わかば 色鉛筆の 赤き粉の ちるがいとしく 寝て削るなり △北原白秋のうた▽ 硬筆裏面使用可	①の（一般硬筆）の課題（B）をヨコ書きに書きなさい。	一般硬筆部十一月号手本課題（B）（No.464）		硬筆用紙

□ 一般部（硬筆）
※ 硬筆用紙（縦十八センチ×横十三センチ）を使用のこと。
※ 便箋用紙（縦二十六センチ×横十八センチ）を使用のこと。

※ 11月号競書及び令和6年度後期昇段級試験締切は、11月30日(土)必着厳守です。

※ 二体とは、楷・行とか、隸・草など任意とする。(隸と楷や行と草の組み合わせは不可)
 ※ 参考手本希望者は、六項をよく読んでお申込み下さい。

(一 般) 硬 筆				(一 般) 毛 筆				試験 挑 戦 部
C (現準1級 の方まで)	B (現準二段 の方まで)	A (現四段 の方まで)	S (現準師範 の方まで)	C (現準1級 の方まで)	B (現準二段 の方まで)	A (現四段 の方まで)	S (現準師範 の方まで)	
ア、 課題①～⑤のいずれかから一枚	イ、 課題①を二体 ア、 課題①～⑤のいずれかから二枚	エ、 課題⑤と①を二体 ウ、 課題④と①を二体 イ、 課題③と①を二体 ア、 課題②と①を二体	イ、 課題④・⑤と①を二体 ア、 課題②・③と①を二体	ア、 課題①・⑤・⑦・⑧・⑪・⑫の いずれかから一枚	イ、 課題①・⑤・⑦・⑧・⑪・⑫の いずれかから二枚	ウ、 課題①・⑤・⑦・⑧・⑩・⑪・⑫の いずれかから四枚	イ、 課題②・③・④・⑥の いずれかから二枚 ア、 課題②を二体	課題 (ア～エ) のうち任意のものを 選び、 応募下さい。
計一枚	計二枚 計二枚	計三枚 計三枚 計三枚	計四枚 計四枚	計一枚	計二枚 計二枚	計四枚 計二枚 計二枚	計三枚 計三枚 計三枚	受験料
3,000円	4,000円	6,000円	8,000円	3,000円	4,000円	6,000円	8,000円	

二、一般部出品作品・受験料
 ※ 試験は現段級に関係なく、どの挑戦部(S～B)にも応募できますが、現1級・現二段・現準五段の方は、それそれ上の試験挑戦部で受験して下さい。
 ※ 現在級の方でもS～B部への受験可能です

※ 現準五段(毛筆・硬筆)以上の方はAでの受験をお勧めします。

学 生 部				課 題	用 紙
硬 筆		毛 筆			
B、十月号または、十一月号規定手本課題 一枚	A、十月号・十一月号規定手本課題 計二枚	B、半紙にて受験 (十月号または十一月号規定手本課題) 一枚	A、条幅¼にて受験 (十月号または十一月号条幅¼参考手本に 準じたもの) 一枚		
400円	600円	400円	600円		受験料

二、学生部出品作品・受験料
 ※ 学生部毛筆・硬筆はAまたはBのいずれかの受験とし、A・B両方での受験はできません。

硬 筆		毛 筆		課 題	用 紙
B、各学年とも「書譜」十月号・十一月号の規定課題(十月・十一月縮切分) 計二枚	A、各学年とも「書譜」十月号・十一月号の規定課題(十月・十一月縮切分) 計二枚	B、各学年とも「書譜」十月号・十一月号の規定課題(十月・十一月縮切分) 計二枚	A、各学年とも「書譜」十月号または、十一月号の条幅¼参考手本(十月・十一月縮切分)に準じたもの		
規定の紙	規定の紙	タテ書	条幅¼ タテ書		

□ 学生部
 一、課題(十月号・No.463、十一月号・No.464)

三、作品締切日 十一月三十日(土) 必着厳守

四、成績発表

令和七年一月号「書譜」に掲載します。

五、認定証について

師範、特待生合格者には、認定証を贈るほか、本誌に顔写真を掲載し、その榮譽をたたえます。支部代表者は、合格者氏名及び顔写真(裏面に氏名・部門・代表者名を記入)を「現代書研究社競書係」宛、ご送付下さい。

なお、認定証は支部代表者にお送りします。

※支部代表者は合格者の顔写真をまとめてお送りください。二回目からは、別途料金(左記)が掛かります。また、個人宛にも別途料金が掛かります。

六、参考手本希望者は、揮毫料をそえ、返信用封筒(切手貼付宛名記入のこと)を同封の上、添削担当者(「書譜」最終頁参照)にお申し込み下さい。(※電話での申し込みは受付致しません)

☆書譜 裏面の先生方は、左記に準じた手本代となります。

※半折・半折 $\frac{1}{2}$ 横手本	一枚	三、〇〇〇円
※学生部条幅 $\frac{1}{4}$ 手本	一枚	八〇〇円
※半紙手本(コピー)	一枚	四〇〇円
※硬筆手本(コピー・一般部のみ)	一枚	三〇〇円

七、出品要領

ア、昇段級試験に限り、出品券は使用致しません。作品の左下に「現段階・氏名」を、また作品の右下には「支部名または代表者名」を横書きでつぎりとお書き下さい。

(二枚以上ある場合も作品全部に書いて下さい。)

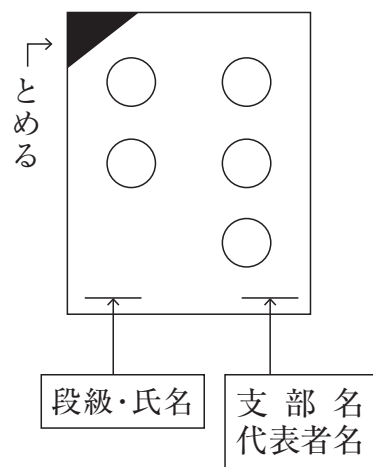
※作品は返却致しませんので、「了」承下さい。

イ、各試験部で応募作品が二枚以上ある場合(一般部・学生部とも)は、作品を整えて左肩をホッチキス、または、のりでとめて下さい。なお、一般部半折又は半折 $\frac{1}{2}$ での受験の方は、段級・氏名の部分が見えるようにたたみ各試験部に分けて、提出して下さい。

ウ、一般部応募者の方は、作品の右肩に半紙作品には△A・BまたはC✓、硬筆作品には△S・A・BまたはC✓の試験部を赤でお書き下さい。

学生部硬筆の△A✓を受験される方も試験部を赤で右肩にお書き下さい。

一般部(S・A・B・C)
学生部硬筆(A)
※各試験部に別けて、まとめて下さい。



横書きで

「段・級・氏名・支部名等が見えるようにたたんで下さい。」

エ、中学生については、学年をはっきりとお書き下さい。

オ、作品の送付については、月例競書と別封筒にし、封皮に「昇試作品」と朱書して下さい。

カ、受験料は出品点数一覧表(私製でもよい)に記入の上現金書留にて締切日までに送付して下さい。(切手代用及び振込は不可)

キ、試験は現段階に関係なく、現段階より上位のどの部(S・A・C)にも応募できますが、特に現1級・現二段・現準五段の方は、それぞれ上の試験挑戦部で受験して下さい。間違つて受験された場合、作品・受験料はお返し出来ませんので、「了」承下さい。

□作品・受験料郵送先△出品要領オ・カに準ずること✓

〒802-0974 北九州市小倉南区徳力四丁目三番五号

有限会社 現代書研究社

電話・FAX(〇九三)九六七一三〇七二番